



永山南小だより

令和5年度 旭川市立永山南小学校 学校通信 11月号

12月1日発行

どんな持ち方だって書くことはできます。でも・・・



旭川市立永山南小学校長 小野 敦 司

バスケットボールの全国大会に出場した高校の監督さんが次のようなことをお話しされていました。「靴を並べられない人に、バスケットボールの高度な技術を教えられるわけがない。そんな基本的な、簡単なことができない人に、難しい技術を教えたって、できるわけがないのです。私は、あいさつができない生徒には、バスケットボールを教える気がしない。伸びないのは、わかっていますから。」

やはり、基本が大事なんだと思います。基本的なことができて初めて、スポーツも上達するんですね。

国民教育の師父といわれた森 信三先生は「しつけの三大原則」として次のように語っています。

＜しつけの三大原則＞

- 1 朝のあいさつをする子に。
- 2 「ハイ」とはっきり返事のできる子に。
- 3 席を立ったら必ずイスを入れ、ハキモノを脱いだらそろえる子に。

これらが生活の基礎基本だとすると、学習にも基本があります。本校では「ALL永山学習のきまり」として、定着に取り組んでいます。学習時に話したり聞いたりするときの心構えや次の授業に向かう準備に関するものもあります。この中に「正しい姿勢で学習しよう!」という項目があります。正しい姿勢の中には、当然正しく書くことも含まれますが、そのためには、鉛筆の持ち方が大切になります。

私が、鉛筆の持ち方を強く意識するきっかけになった出来事があります。学生時代に、よく行っていたレンタルレコード屋さん（確実に死語ですが）での事です。その店員さんは、今までに見たことのない持ち方で文字を書いていたのです。人差し指から小指までの4本で、鉛筆を握り込み、手首の動きで書いているのです。その様子が、何とも書きにくそうで、強い印象となって残りました。

鉛筆を正しく持つことは大切ですが、身に付けることは、そう簡単ではありません。学校でも入門期にはしっかりと、その後も折に触れて、繰り返し指導しています。けれど、大切な基本ほど、そう簡単には身に付かないというのも事実です。お子さんの手元に、ちょっと注目していただければ助かります。鉛筆の正しい持ち方を身の回りのもので身に付ける工夫の資料がありました。ご紹介いたします。

＜その1「ティッシュ丸める法」＞

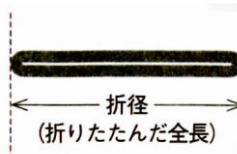
教科書などに示されているとおりに鉛筆を持つと、人さし指と親指のつけ根に空間ができます。この空間が必要なのですが、多くの児童が、親指のつけ根に鉛筆の軸を置いてしまうので、そこにティッシュを丸めて詰め込み、鉛筆の軸が手前に倒れないようにします。児童の手の大きさに合わせて、適度にティッシュをちぎり、「ティッシュだんご」の大きさを調整します（右写真）。ティッシュペーパーはソフトタッチなせいか、児童には好評で、「やりやすい」「これならうまくいく」といった声がよく聞かれます。



ティッシュ丸める法

＜その2「輪ゴム法」＞

正しい持ち方をしているところに、鉛筆、人さし指の順に輪ゴムを通して、人さし指の第二関節と第三関節の間にまではめ込みます（右写真）。この方法は以前から知られていて、自然な形で運筆できます。ただ輪ゴムは、折径 2.5cm くらいのもものが理想で、折径 6cm くらいの一般的な大きさのものは、二重にしなければいけないので児童には扱いが難しくなります。



折径 2.5cm (JIS規格で#8) くらいの輪ゴムが適している。



輪ゴム法

鉛筆を正しく持つと五ついいことがあるといえます。①きれいな字が書ける②疲れない③はやく書ける④姿勢がよくなる⑤頭もよくなる、です。ICTに目が向いている今だからこそ大切にしたいです。

11月の南っ子の様子



学習発表会が終わり、11月は落ち着いた環境の中、学習や運動、読書活動などを通じ、一人一人に実りの多い秋となりました。4月から取り組んできた「話す・聞く」の活動や、「自分の考えを書く・他者に伝える」活動を充実させながら、それぞれの学年に応じた「よい学びの姿」が見られました。次学年に向けての意識も高まってきています。

話す・聞く・書く【言語活動の充実】



今年度、子どもたちの学びについて、南小学校で大切にしていることの一つとして「言語活動の充実」があります。自分の考えや相手の考えを、会話や文章で互いに伝え合い、学びを深めています。ICTも目的に応じて積極的に活用しています。

学校を支えている高学年

各委員会での具体的な取組

児童会本部・代表委員会～いいことラジオ
図書委員会～マイ・フェイバリット・ブック
体育委員会～縄跳び大会、ドッジボール大会
給食委員会～もぐもぐチャレンジ
保健委員会～健康ウォークラリー
生活委員会～落とし物ランキング
放送委員会～超人グランプリ
環境委員会～学校の環境を整える活動

なわとび大会

これまで体育科の授業を中心に全校で練習に取り組んできました。久しぶりに学年で体育館に集まって、大会を開催し、優勝者を決定しました。



インターンシップの取組

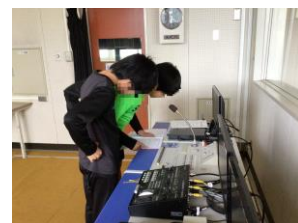
校区にある永嶺高校の2年生6名が来校し、算数のミニ先生や子どもたちと交流をしながら、教師の仕事を体験していきました。



委員会活動を通して、5・6年生が協力して主体的に活動し、よりよい学校生活を目指して様々な企画に取り組んでいます。各委員会では、課題となることについて、その改善を図る具体的な取組について話し合い、準備作業や実際の活動に取り組んでいます。



体育委員会



保健委員会

読み聞かせ会の取組

3年生と4年生では、授業の中での「読み聞かせ」を行いました。エプロンシアターや紙芝居など、様々な形態での読み聞かせをしていただきました。子どもたちは、じっくりと本の世界に浸ることができました。



保護者懇談Ⅱ実施

11月6日(月)～14日(火)に、今年度2回目の保護者懇談Ⅱを実施しました。今後も、家庭や学校での過ごし方、様々な問題などについて共通理解を図り、それぞれ次の学年に向けて学校生活の充実を目指していきます。

12月の行事予定

- 1日(金) 交通安全ボランティア・登下校
- 4日(月) 放課後学習3, 4年生
- 7日(木) 参観日1・3・5年生
- 8日(金) 参観日2・4・6年生
- 11日(月) 委員会
- 13日(水) ドレミ集会
- 15日(金) 口座引き落とし日
- 20日(水) 放課後学習5, 6年生
- 25日(月) 2学期終業式(給食なし)
- 26日(火) 冬季休業(～14日)
- 29日(金) 年末の休日 学校閉庁日(～31日)

第63回 旭川市PTA研究大会

今年度も、旭川市PTA連合会の研究大会が11月5日(日)に開催され、本校からPTA役員と教職員合わせて5名が出席しました。

全体講演と最近話題となっていることについて、体験やワークショップなどを取り入れた5つの分科会の中で学習を深めました。